

公益社団法人香南市シルバー人材センター

令和3年度事業報告

概要

少子高齢化が進行する中、会員の高齢化はますます進んでおり、令和3年度末の香南市シルバー人材センターにおける平均年齢は74.2歳となりました。年齢構成は、60歳代が23.1%、70歳代が58.8%、80歳代が18.1%となっています。

このような情勢の中、当センターの令和3年度の受注状況は、昨年度から引き続いて新型コロナウイルス（オミクロン株）等の影響はありましたが、バス運転等の件数も少数ながら増加した事や、受託事業から派遣事業への切り替え等もあり、派遣の受注件数は16件増加の154件で、契約金額は5,772,533円増の34,416,129円となりました。請負・委任の受注件数は、昨年度対比32件減少して2,242件となりましたが、契約金額は1,547,005円増の75,630,320円と前年度に比べて回復しています。全体では7,319,538円増加の110,046,449円となりました。

重点事項の会員の加入拡大の取り組みについては、高知県シルバー人材センター連合会と各センターが一体となって行い、テレビ、新聞等マスメディアでの広告や、香南ケーブルテレビを活用した広告、市内全戸への会員募集のチラシ配布やスーパーマーケットの店頭におけるチラシ配布等を実施しました。また、各種イベント参加による市民との交流、企業の訪問活動は、新型コロナウイルスの関係で実施できませんでした。会員数につきましては、全国的に会員減が進む中、高知県シルバー人材センター連合会との連携した取り組みを実施して、当センターにおいては何とか現状維持することが出来、令和3年度の入会者は17名で、退会者は14

名であり、令和3年度末の会員数は、昨年度より3名増の216名となりました。

就業開拓の取り組みについては、市内企業への訪問活動を実施し、情報収集を行い今後の開拓に繋げました。本年度から60歳以上の高齢世帯への支援として「粗大ごみを回収し受入施設へ搬入する業務」の実施に加えて、日常的に生活支援の必要な高齢世帯に対するサービスとして「ゴミ出し支援の業務」を開始することが出来ました。

安全・適正就業の取り組みは、安全・適正就業委員会で検討・作成した安全就業基準に基づいて安全パトロールを実施し、会員の安全就業意識の向上に努めました。以下、令和3年度の事業実施内容の詳細を報告いたします。